



quality

品質

お客様のニーズを満足する信頼される製品を継続的に提供します。

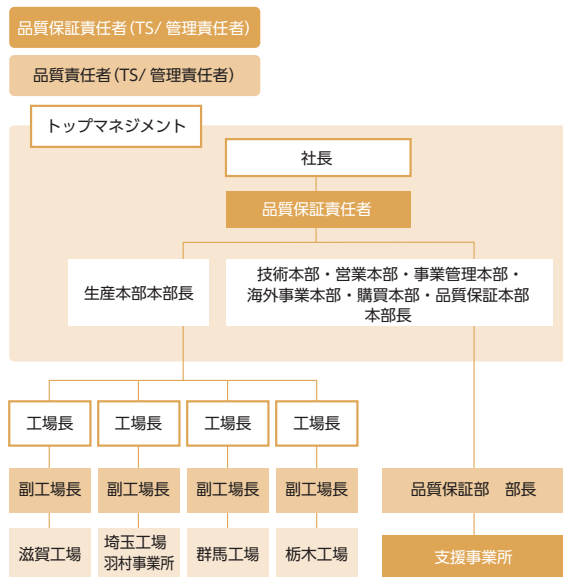
品質方針

品質至上を経営の基軸として、お客様に感動製品を創造し提供する。

品質保証体制

顧客を満足させる高品質な製品を作り上げる為に、G-TEKT全19拠点での「1保証体制1マニュアル」を確立しています。また各拠点が、このルールに適合することで拠点間の品質保証システムの水平展開を図ることができ、生産活動だけでなく物流まで含めた品質保証に貢献できます。

■ ISO/TS16949の国際規格に基づいた品質マネジメントシステム



品質向上の取り組み

■ 品質保証システム



1 戦略
 ・お客様の機種種情報を収集し、新技術や品質保証等の面で計画立案をします。
 ・お客様よりいただいた新機種情報に対し改良案やコスト削減案をご提案し、お客様と共に製品を「共創」します。

2 企画
 ・顧客要件に基づいた設備の投資・設計・生産性・新技術などを検討し、安くても良い製品を作るため社内で評価を行います。

3 設計
 ・設備や品質など各部門の管理計画の作成・準備を行い、企画段階のことが行われているか設計審査を行います。

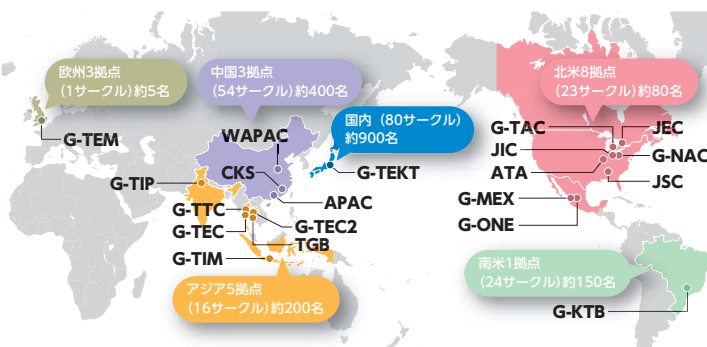
4 生産準備
 ・企画構想に基づいた金型・溶接ラインを作り、試作品を製作して専用設備の準備・検証・評価を行います。1点ずつ検証し、製品の確からしさ検証を行います。

5 量産
 ・企画段階の目標値が量産で達成できたかどうか、品質・コスト・デリバリーの面から評価を行います。製品の品質確認、設備のメンテナンスや点検を確実に実施します。

6 品質情報
 ・品質関連情報を集約し品質改善につなげます。また、次機種に反映するため企画段階へフィードバックを行い未然防止に役立ちます。

G-TEKT サークル

当社グループでは教育を目的とした小集団活動を自主的かつ積極的に行い、継続的に製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行っております。



G-TEKTサークル世界大会

毎年秋に全世界から選ばれたサークルが日本に一堂に会したG-TEKTサークル世界大会を開催しています。全世界で改善事例を共有し、国際的な人材育成を行っています。

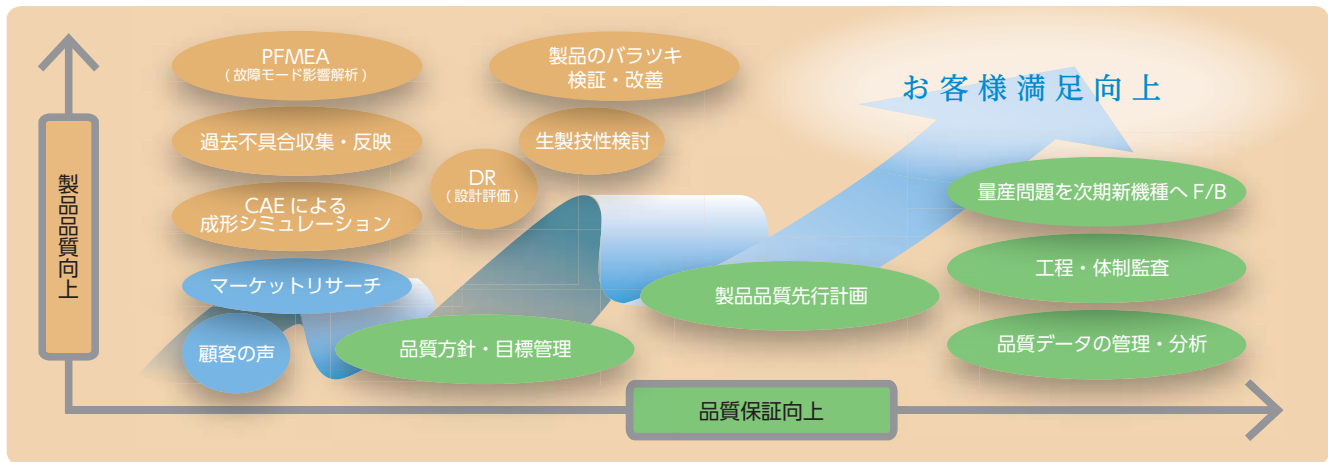


ISO/TS16949 認証取得

ISO/TS16949の要求事項を基にした品質マネジメントシステムを構築し、お客様の要求品質に応えた製品を提供できる体制を構築しております。また、G-TEKT発足以後、全世界拠点にてISO/TS16949規格での品質マネジメントシステムの構築を推進し、2015年度に新たに2拠点の取得を完了し現時点16拠点の取得を完了しております。



お客様満足向上の方針



購買・CSR 調達方針

調達先の法令遵守や環境配慮、さらに人権や労働環境への取り組み状況について取引の基準とするCSR調達に対する意識を高め、法令を遵守し環境に配慮したモノづくりの考え方をサプライヤーの皆様にも共有していただく。

活動指針

1. CSR調達方針およびガイドラインの策定
2. 調達先の現状調査の実施
3. 調達先への是正・改善措置の提案及び実施
4. 調達先監査の実施

「ジーテクト サプライヤー CSR ガイドライン」の発行

CSR活動に当たっては、環境問題にとどまらず法令遵守・人権尊重・労働安全・品質などサプライチェーン全体の活動が重要となっております。これまでサプライヤーの皆様とともに取り組んで参りましたが、ジーテクトのCSRの考えをより鮮明にし、より深く共有いただく為に、2016年4月に「ジーテクト サプライヤーCSRガイドライン」を策定いたしました。今後もサプライチェーンの課題の把握とその解決を目指し、サプライチェーンの強化に努めます。



新春取引先懇親会の様子

取引先とのコミュニケーション

チームジーテクトとして厳しい環境を勝ち抜くために、お取引先との情報共有の機会を常に設ける事により、コスト競争力・安全・品質の強化に取り組んでおり

ます。またお取引先とのコミュニケーションの一環として、毎年取引先懇親会を開催し、ジーテクトの方針説明を実施いたしております。

従業員の



VOICE



日本と海外をつなぐ 品質保証の架け橋として

品質保証本部 品質保証部 品質保証課 笹江 有未

入社時より品質保証部に配属され、得意な英語を生かし主に海外拠点とのやりとりを担っています。全世界の品質情報を迅速に把握し、リアルタイムに各拠点へ情報共有をしており、その情報を毎月、拠点毎に集計することにより、次機種の企画段階へフィードバックする業務も行っています。また、品質関係業務やQCサークル等の教育資料も作成し、国内・海外全拠点へ毎月展開しています。海外拠点とのコミュニケーションは時差等もあり難しいところもありますが、日本と海外の品質保証と改善に繋がる架け橋となる様、日々邁進しています。